



一学期 最終号



新型コロナウイルス感染者数が県内・市内で急増し、7月6日（水）から『ご家庭で保育のできる方は、登園を控えていただく』お願いが出雲市から出されました。それに伴い、予定していた七夕会や保育公開・学期末保護者会を中止としました。「七夕って、お空に天の川があって、織姫様と彦星様が会うんだよね」「短冊にお願い事書いたら、叶うんだって」と、七夕の歌を歌ったり、担任から話を聞いたり、遠い空に思いをはせたりしながら、飾りを作って七夕会を楽しみにしていました。一学期最後の保育公開でも、それぞれのクラスの遊びを見ていただいたり、学級懇談では子ども達の一学期の育ちの様子をお話ししたりして、子ども達の成長の姿を共有しようと考えていました。残念ながら、この二つの行事は行うことができませんでしたが、一生懸命作った七夕飾りは持ち帰りますので、見てあげてください。学級経営や園経営については、経営案を配布しましたので、またお読みいただき、ご理解いただければと思います。

この一学期間、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの園生活でしたが、保護者の方にもたくさんのご協力をいただき、子ども達は元気いっぱいにご過ごすことができました。

入園してから今日までの成長が著しいりんご組さん。自分のことが自分でできるようになってきたり、友達との触れ合いを喜んだり、新しい遊びに目を輝かせ、全身で楽しさを表現していました。

新しい友達が入園し、一つお兄さんお姉さんになったき組さん。意欲的に活動に向かうので朝の身の回りの始末がとっても早くできるようになりました。生き物大好きで、オタマジャクシやツマグロヒョウモンの幼虫を大切にお世話し、カエルや蝶になった時の喜びや感動をクラスで共有しました。生き物に心を寄せ、生き物と一緒に遊べる大きなハウスを作って、クラスみんなで遊ぶ楽しさを味わいました。

幼稚園の最上級となったあお組さん。ぐんぐんタイムの体操リーダーやきらりん挨拶隊などのリーダー活動に取り組みました。その姿はとっても頼もしく見えました。不思議に思ったことを調べたり、自分の思いや願いを実現しようと試行錯誤や工夫をしたり、友達と思いを伝え合って一緒に遊びを楽しんだりなど、自分達の遊びを楽しく続けていました。

どのクラスでもいろいろな場面で、一人一人の良さがきらりと光ったり、「すごいなあ」「がんばっているなあ」と感じられる一学期でした。

二学期は、運動会や遠足、生活発表会・・・いろいろな行事がたくさんあります。各クラスの遊びもそれぞれ充実していくことでしょう。そんな中で、子ども達がどんな姿を見せてくれるのかとても楽しみです。

この一学期間、保護者の皆様には、あたたかいご支援とご協力をいただき、本当にありがとうございました。「夏休みのくらし」をよく読んで、楽しく安全な夏休みを過ごしてください。

